

令和 8 年 5 月 1 日

横須賀市長
上 地 克 明 殿

(ヨット競技会長)
特定非営利活動法人横須賀ヨット協会

会 長 石 渡 一 義



第 9 9 回横須賀市民体育大会（ヨット競技）（横須賀ヨット協会セーリング競技会）
事業計画について（報告）

標記について、添付資料のとおり報告致します。

添付資料：第 9 9 回横須賀市民体育大会事業計画書（ヨット競技）（横須賀ヨット協会セーリング競技会）
別添資料 1 第 9 9 回横須賀市民体育大会（ヨット競技）（横須賀ヨット協会セーリング競技会）レース公示
別添資料 2 第 9 9 回横須賀市民体育大会（ヨット競技）（横須賀ヨット協会セーリング競技会）帆走指示書
写送付先：横須賀海上保安部交通課
長井町漁業協同組合

資 料

第 9 9 回横須賀市民体育大会 (ヨ ッ ト 競 技) 横須賀ヨット協会セーリング競技会 事業計画書

令和 8 年 6 月 7 日 (日)

(ヨット競技会長)
特定非営利活動法人横須賀ヨット協会
会 長 石 渡 一 義

目次

1. 事業名	3
2. ヨット競技会の開催について	3
3. 競技会組織等	4
4. 競技実施要領	6
5. 競技会開催の基準	9
6. 安全体制	10
7. 緊急時連絡網及び通報先	13
8. その他の留意事項	14
9. 横須賀市民体育大会における新型コロナ感染リスク対応方法（要請等があった場合）	15
10. 競技会運営作業予定（令和7年11月2日）	17
11. 競技会準備計画表	18
12. 事業収支見積	19
13. 競技実施の報告等通報先	20
別添資料1 第99回横須賀市民体育大会（ヨット競技）（レース公示）	21
別添資料2 第99回横須賀市民体育大会（ヨット競技）（帆走指示書）	27

第99回横須賀市民体育大会事業計画書

1. 事業名

第99回横須賀市民体育大会（ヨット競技）・横須賀ヨット協会セーリング競技会

2. ヨット競技会の開催について

(1) 実施期日

令和8年6月7日（日）

（荒天またはその他の理由で開催が困難と判断される場合、日程調整後延期）

(2) 実施時間

午前8時00分（受付開始）～午後4時00分（閉会式）

(3) 会場

長浜海岸及び宮田湾・長浜海岸沖

(4) 競技会責任者

競技会長 特定非営利活動法人横須賀ヨット協会 会長石渡一義

(5) 競技運営委員等

特定非営利活動法人横須賀ヨット協会及びその協力者

(6) 事業の目的及び事業内容

ヨットを通じ、海に親しみ、青少年の心身の健全な育成及び地域社会のスポーツ振興の実現に貢献するため、横須賀市内在住・在勤者・在学者及びNPO法人横須賀ヨット協会の関係者並びにその推薦者を対象としたヨット競技レースを企画する。

3. 競技会組織等

(1) 組織図



※各係員は、委員が兼務も可とする。

(2) 競技運営(艇)の役割

1) 競技会本部(陸上)の役割

- ① 公式掲示板の管理
- ② レース参加者の登録受付
- ③ レース結果の集計
- ④ 災害警報発令時の情報収集(ラジオ、防災放送)及び通報
- ⑤ 災害、事故等発生時の経過概要作成(記録)

2) 海上本部艇

- ① 競技全般の運営(安全管理)
- ② スタート、フィニッシュの設定
- ③ 競技開始、終了運営(フラッグ、ホーン、時計、記録)
- ④ 審判
- ⑤ 災害時(津波警報・注意報発令等)警報発令、レスキュー艇およびレース艇へ避難誘導・避退指示

3) レスキュー艇

- ① 安全支部長の指示に従い救助活動
- ② レース海域内外の監視活動
- ③ マーク設置
- ④ 競技艇のマーク廻航チェック、審判
- ⑤ 災害時(津波警報・注意報発令等)、避難誘導

(3) 競技運営委員(案)

項 番	配置	役割	担当	備考
1	競技会本部 (陸上本部)	陸上本部長	石渡 一義	ヨット競技会会長
2		陸上副本部長	横山 恵一 片桐 邦博	ヨット競技会事務局 (副) ヨット競技会副会長
3		総務委員	森安 弘人	
4		連絡係	島田 和久	
5		受付係	西澤 敏博	
6		物品係	角田 祐治	
7		衛生係	松井 聖子	
8	海上本部 (本部艇)	海上本部長	野口 晶義	ヨット競技会事務局
9		海上副本部長 競技委員 (連絡係)	松井 力	ヨット競技会副会長
10		競技委員長 審判委員長	永田 智	
11		安全係 記録係	松井 聖子	
12	レスキュー1	艇長 1	鈴木 誠	
13		審判委員 1	小川 宗一郎	
14		補助/広報	堀江 敏文	
15	レスキュー2	艇長 2	山田 政義	
16		審判委員 2	松井 力	
17		補助/広報	内山 友美	

4. 競技実施要領

(1) 競技期日

令和8年6月7日（日）

（荒天またはその他の理由で開催が困難と判断される場合、日程調整後延期）

(2) 競技会場

- 1) 競技会本部 横須賀ヨットジュニアクラブ練習場（横須賀市長井2-1 3-3 8）
- 2) 競技海面 宮田湾・横須賀市長浜海岸沖

(3) 注意事項

- 1) 天候その他の状況及び安全上の理由により、レース・エリアは変更する場合がある。
- 2) 海・浜のルールブックを遵守する。（横須賀「長井」連絡会）
- 3) 競技海面～海岸の往復は往復ルートを使用
- 4) 避航エリアに進入しない

競 技 会 本 部

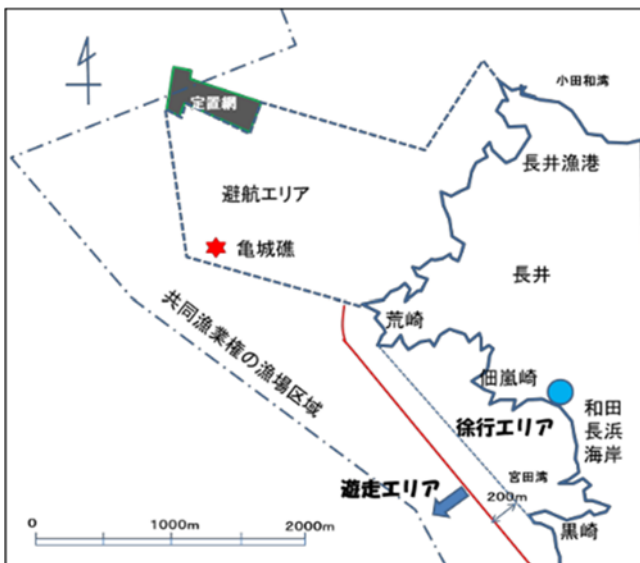
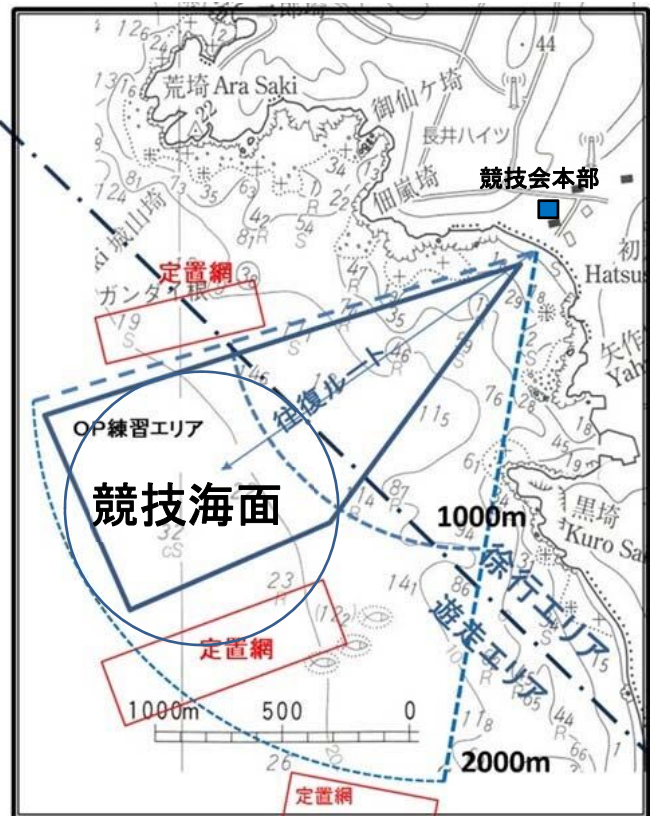


遊走エリアへの往復ルール

徐行エリア内は10km/h以下で
遊走エリアへの往復は最短コースを



競 技 海 面



(4) 競技役員等

特定非営利活動法人横須賀ヨット協会の会員が主体となり運営する。 競技運営委員は以下のとおり。

競技会長	石渡一義	NPO法人横須賀ヨット協会会長
競技副会長	松井 力 片桐 邦博	NPO法人横須賀ヨット協会副会長 NPO法人横須賀ヨット協会副会長
競技会事務局	野口 晶義 横山 恵一	NPO法人横須賀ヨット協会事務局長 NPO法人横須賀ヨット協会事務局(副)
競技運営委員	NPO法人横須賀ヨット協会会員から指定する。 3 競技会組織等 (3) 競技運営委員(案)による。	

(5) 競技種目

ディンギー（OP、シングルハンド及びダブルハンド）クラス

(6) 競技要領

- 1) 第1グループ（ヤードスティックナンバー110未満）
- 2) 第2グループ（ヤードスティックナンバー110以上）の2グループに分類し、グループ毎にレースを実施する。
- 3) 各グループの競技艇数は10艇程度までとする。
- 4) レースは、2回実施する。但し、各グループともに1レースを完了すれば、競技会は成立とする。

(7) 競技日程

08:00～09:00 大会本部：参加選手受付・出艇申告
 09:00～09:20 開会式及びスキッパーズ・ミーティング
 10:25～ 第1レース・スタート予告信号
 11:55～ 第2レース・スタート予告信号
 13:30 レース終了・帰着申告
 （12:45以降のスタートは行わない。）
 14:00～15:00 昼 食
 15:30～16:00 表彰式及び閉会式

(8) 適用規則

- ・ I S A F 競技規則 2025-2028、帆走指示書及びレース公示を適用する。

(9) 帆走指示書

- ・ 別添資料第2のとおり。

(10) 参加資格等

- 1) 選 手
 - ① 横須賀市内在住、在勤、在学の者又は、NPO法人横須賀ヨット協会関係者並びに同協会から推薦された者。
 - ② 小学校1年生以上の者。
 - ③ NPO法人横須賀ヨット協会主催の安全講習会を受講している者。
- 2) 参加艇
 - ① 原則として自艇による参加とする。（艇は当日会場へ搬入する。）
 - ② NPO法人横須賀ヨット協会会員及びY Y Aジュニアヨットクラブ生は、練習艇を使用する。
- 3) 保険等

参加する選手は、競技期間中を契約期間とするスポーツ安全保険等に参加していること。

(11) 参加料

- ① シングルハンド級 : 1000円／1艇
- ② ダブルハンド級 : 2000円／1艇
- ③ 参加料は、いかなる場合においても返金しない。

(12) 表彰等

1) 賞

- ① グループ別（艇種別）にそれぞれ1位～8位まで賞状を授与する。
- ② ヤードスティックナンバーに基づいた総合順位で（OP-Bを除く）、1位～3位まで賞状を授与する。
- ③ シーマンシップに溢れる選手に、特別賞を授与する。

(13) 参加申込要領

1) 申込方法

- ① 「参加料」を指定口座に振り込む。振込人名の後にセイルナンバーと艇種を入力。
- ② 「参加申込書」に参加料の「振込明細書」を添えて下記の「郵送先」へ送る。
- ③ 郵送の場合は当日消印有効。「ヨット協会事務局」に持参するなどの場合は、「申込締切日」の17時まで。

2) 申込締切日

2026年5月29日（金） 17時 締め切り

※締切厳守 競技大会当日の申込受付は行いません。

3) エントリー変更

- ・申し込み締め切り後のエントリー変更は原則認めない。

配布先	〒238-8550 横須賀市小川町11番地 文化スポーツ観光部 スポーツ振興課 社会体育係 Tel: 046-822-8493
郵送先	〒239-0808 横須賀市大津町三丁目19番2号 高北不動産（株）内 NPO 法人横須賀ヨット協会事務局 Tel: 046-836-7440 Fax: 046-836-6490
振込先	（名称）特定非営利活動法人横須賀ヨット協会 横浜銀行馬堀支店 （店番号）549 （口座番号）1288064

5. 競技会開催の基準

次の条件に基づき、運営委員が検討し、競技会会長が決定する。

(1) 気象条件

- ① 注意報（平均風速 12 m/s 有義波高 2.5 m（相模湾）視程 500 m）が発令中は原則として競技は実施しない。
- ② 横浜地方気象台発表の葉山町及び横須賀市（相模湾）の注意報から判断する。
- ③ 競技会中止の基準を、風速：10 m以上、波高：1.0 m以上、視程：1000 m未満 とする。またこの基準を超える気象条件が予想される場合は、競技開始を見合す又は中止する。
- ④ 海水温度が 10 度未満のときは競技を実施しない。

(2) 競技海域の設定

- ① 長浜海岸の横須賀市側を中心として距離 5000 m以内、沿岸から 2000 m以内を基準とする。
- ② 暗岩・浅瀬、定置網が多い荒崎より北側、漁場区域内では競技しない。
- ③ 横須賀「長井」連絡会から示された海・浜のルールブックを遵守する。

(3) 競技会終了時刻

- ① 終了予定時刻 16：30 レース：13：45頃までには終了する。
- ② 宮田湾のぼら漁最盛期（9月～10月）は、原則として海上での行動は 14：00までに終了する。

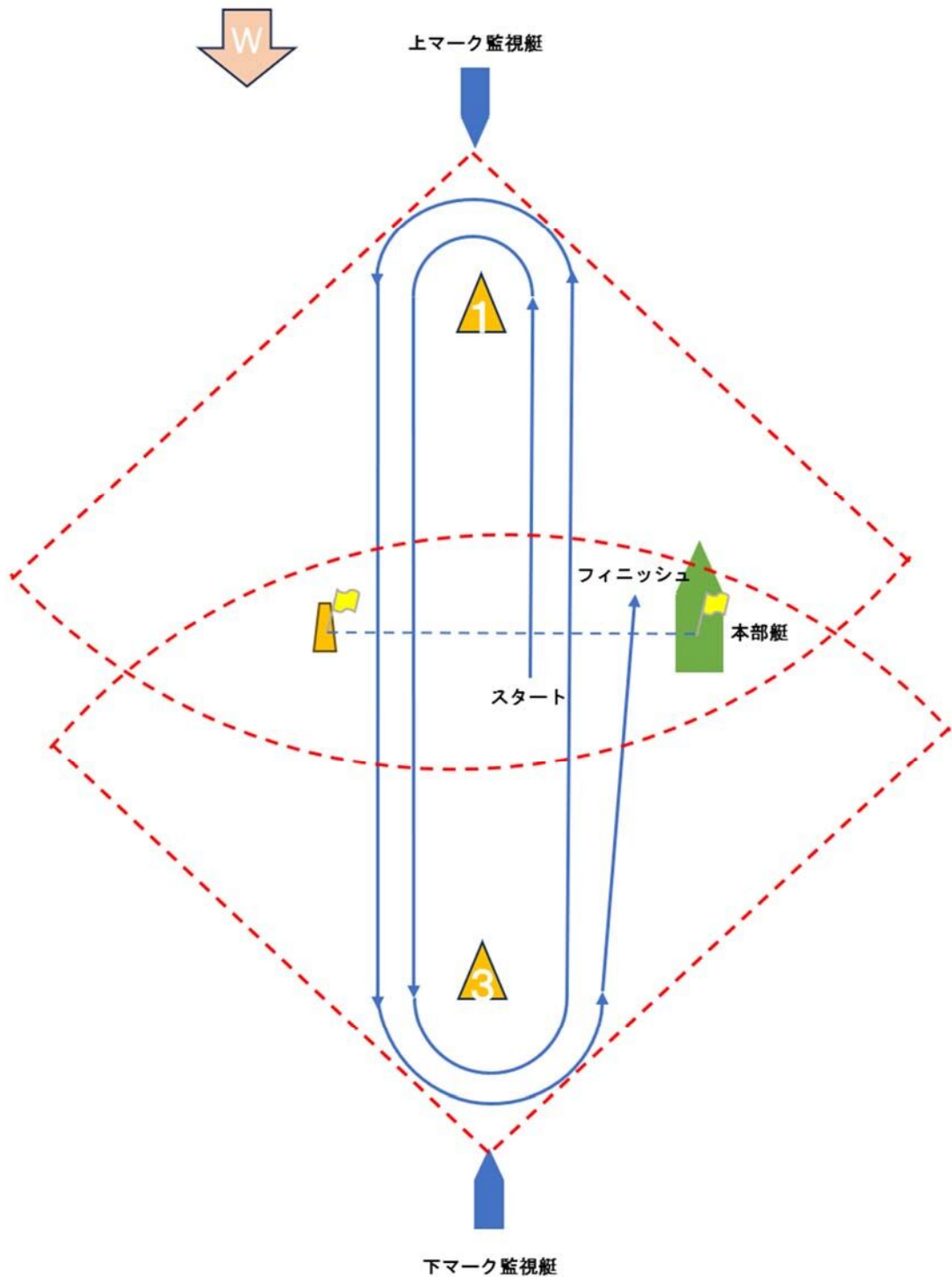
(4) 沿岸情報

沿岸域の状況は、横須賀海上保安部沿岸情報（MICS）から判断する。

6. 安全体制

- (1) レスキュー艇（予定数 2 艇使用）
- (2) 動力を備えたレスキュー艇が 2 艇以上出艇できない場合は競技を実施しない。
- (3) 操船は 2 級船舶以上の資格を持ち、その免許を携帯している者が行う。
- (4) 艇員数は、船長を含め 2 名以上、救助に支障がない人数とする。
- (5) 法定装備品及びシーナイフ等必要な工具を搭載する。
- (6) レスキュー艇の配置は、下図のとおり。

レスキュー艇 2 艇



(7) 連絡体制 (別図参照)

- 1) 海上本部（海上本部艇）に安全監視員・連絡員を配置する。
- 2) 競技会本部（陸上）、海上本部及びレスキュー艇の連絡員の交信は、トランシーバーを主用とし、携帯電話を補用とする。
- 3) 競技会本部（陸上）、海上本部及びレスキュー艇は、それぞれトランシーバー１台以上 装備する。
- 4) トランシーバーによる交話可能圏内での行動を原則とする。
- 5) 競技会本部（陸上）は、緊急防災放送等に留意し、危険を判断した場合は海上本部（海上本部艇）及びレスキュー艇へ連絡できる態勢とする。また、海上において不測の事態が発生し場合は、関係各所への連絡できる態勢を維持する。

(8) 服装及び装備

- 1) 出艇前に、服装及び艇の装備について、安全確保の観点から安全委員が確認し、不適な事項について指導する。
- 2) ライフジャケットを着用する。
- 3) 熱中症対策又は防寒対策を考慮した、動きやすい服装とする。

(9) 競技使用艇

- 1) 出艇前に艀装状態を安全委員が確認する。
- 2) OP以外のヨットのマストトップに浮力体を装着する。

(10) 津波が発生した場合の処置（帆走指示書に規定）

気象庁が津波警報（大津波・津波）または津波注意報を発表した場合、海上本部艇に反復 音響信号と共に下に示す旗を掲揚する。これらの信号旗を揚げた時、レースは中止され、全ての艇は速やかに帰航する。

津波警報に関する旗・信号

	U 旗	津波警報	これらの信号旗を揚げた時、レースは中止され、全ての艇は速やかに帰航する（反復音響信号）。
---	-----	------	--

(11) 津波の発生が予想される場合の処置

- 1) 防災放送等で津波が発生する恐れがある地震が生じた場合、競技会本部（陸上）連絡員は、速やかに海上本部艇及びレスキュー艇へ通報し、以後連絡体制を維持する。
- 2) 無線等により連絡が取れない場合は、Y Y Aクラブ旗（緑）を左右に何回も振る。又は異常が視覚及び聴覚で認識できる作業を反復して実施する。それを確認したレスキュー艇は、直接又は無線交話が可能になるまで陸岸へ近接する。
- 3) レスキュー艇及び海上本部艇は、レースに参加している各艇に海岸へ戻るように指示する。初心者等は、牽引若しくは、艇員をレスキューに乗艇させ海岸へ避退する。
- 4) 引き潮により長浜海岸への移動が困難な場合、近くの陸岸へ避退する。
- 5) 本部艇及びレスキュー艇は、競技会本部との連携をとり、レース艇に明確な指示を実施する。

(12) 津波発生時の避難経路

- 1) ランク１の津波警報（３ｍ予想の浸水）において避難が必要であることを周知させるため競技本部前に避難経路を掲示する。
- 2) 避難場所：ソレイユの丘（海拔３０ｍ）
- 3) 避難経路：下の図のとおり。

横須賀市ハザードマップから



地震発生から30分以内に避難経路に従い、ソレイユの丘へ避難する。

競技会本部（陸上）の役員は大会参加者の避難活動を優先する。

〔参考〕

明応型地震：最大津波高さ4.9m

津波到達時刻96分

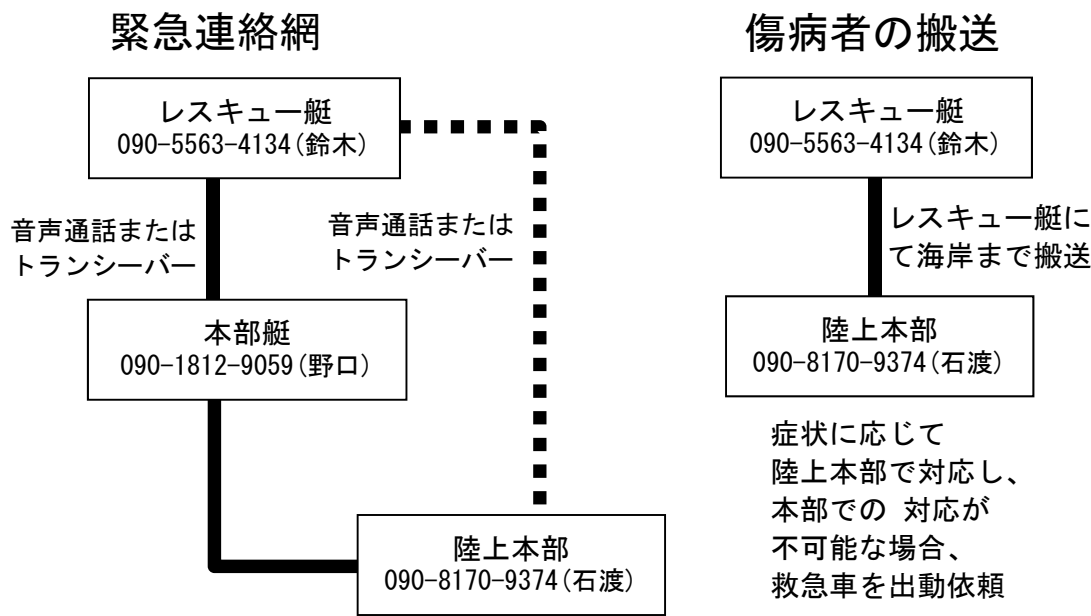
慶長型地震：最大津波高さ5.4m

津波到達時刻51分

避難経路



7. 緊急時連絡網及び通報先



緊急時の連絡通報先

	事象等の項目	連絡通報先	電話番号
1	水難事故が発生した場合	横須賀海上保安部交通課	046-861-8374
		第3管区海上保安本部	045-211-1118
		横須賀市消防局	119 (046-822-0119)
		横須賀警察署	046-822-0110
2	負傷者（ケガ）が発生した場合	横須賀市消防本部	046-876-0119
		逗葉地域医療センター	046-873-7752
		三浦市立病院 岬陽町4-33	046-882-2111
		横須賀市立市民病院	046-856-3136
3	海の事故全般	もしもの時の連絡先	118
4	横須賀市の担当	横須賀市文化スポーツ観光部 スポーツ振興課 担当職員 (安藤氏)	080-6798-4805

8. その他の留意事項

(1) 海・浜のルールブック（横須賀「長井」連絡会）

- 1) 硯突漁は周年操業しており、旗は揚げていないが引き波が立つと大変危険なため、潜水 漁業同様に漁船に近づかない。
- 2) 排気音による魚群への影響を考慮し定置網やイケスなどの近くでは航行しない。
- 3) 潜水漁業の漁期（長井沿岸 6 月～10 月）
- 4) 潜水の船は青い旗（A 旗）を立て、半径 50m 以内で海面に赤いブイを浮かべて操業する船に近づかないこと。
- 5) ボラの刺網漁業（宮田湾 9 月～10 月） ボラの刺網漁業を行うため、午後 2 時～翌朝 7 時の間、宮田湾内は航行しないこと。
- 6) 荒崎沖の避航エリアは、様々な漁業が行われ大変危険であり、浅瀬も多数あるので、避航すること。
- 7) 黒崎と荒崎を結んだ線の 200m 沖までは徐行して通過し、遊走エリアに出艇すること。

(2) 神奈川県迷惑行為防止条例 第 13 条

人が遊泳、手こぎボート等の小舟が回遊する水面において、原動機を用いて推進する船艇を急旋回、または疾走させる等により、遊泳者または手こぎボート等の小舟に乗っている者に対し、危険を覚えさせるような行為は県条例で禁じられている。罰則を科せられることがある。

(3) 漁業法第 143 条

漁業権または漁業協同組合の組合員の漁業を営む権利を侵害するような行為は、法律により禁止されている。違反した場合には罰則を科せられることがある。

9. 横須賀市民体育大会における新型コロナ感染リスク対応方法（要請等があった場合）

- (1) 横須賀市民体育大会の基本的対応方法に沿って対応する。
以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）
 - 1) 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 3) 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 基本的対応方法
 - 1) マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
 - 2) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施。
 - 3) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ 2 m 以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
 - 4) 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと。
 - 5) 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
 - 6) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに 濃厚接触者の有無等について報告すること
- (3) 当日の参加受付時の留意事項
 - 1) 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
 - 2) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること。（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる。）
 - 3) 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
 - 4) 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
 - 5) インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること。
 - 6) 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
 - 7) イベント前日までにできるだけ受付を済ませ、当日の受付での混雑を極力避けること。
- (4) 横須賀市民体育大会参加者（含むスタッフ、運営関係者）への対応
 - 1) 書類による体調の確認 と当日の検温
 - 2) 全員の氏名、年齢と代表者の住所、連絡先（電話番号）を記載した書面を作成する※個人情報取り扱いに留意する。
 - 3) 大会当日の検温（全員分）
 - 4) 大会前 2 週間における以下の事項の有無
 - ① 平熱を超える発熱
 - ② 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
 - ③ 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等
 - ④ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ⑤ 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無
 - ⑥ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等
 - 5) 参加者にマスクを準備するよう依頼する。マスクの着用は参加者等の判断によるものとしませんが、参加受付、着替え、表彰式等の直接競技を行っていない間（陸上）は、マスクの着用を求めることとします。
 - 6) 休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意することが必要。広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける
 - 7) 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する。
 - 8) トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。
 - 9) 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する

- 10) 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。
 - 11) 可能な範囲で、手を拭くための使い捨てペーパータオルを用意する（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備は使用しないようにする）
 - 12) 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。
 - 13) 飲食物を参加者に提供する場合、感染経路を意識した提供方法を検討ください。食べ回しやのみ 回しなどが発生する可能性のあることは控えてください。
 - 14) 運営スタッフの体調確認 参加チームのみならず、運営に関わるすべてのスタッフの検温を実施し、運営リストにはない関係来場者などを正確に把握し、 全員分 の体調確認も徹底するよう努めてください。
 - 15) 式典等、運営の簡略化 開・閉会式、表彰式などは、できるだけ簡略化する。
 - 16) 応援者や観客も来場を許可する場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客数を制限するなどの対応をとることを検討ください。また、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の 留意事項を周知する。
 - 17) ゴミの廃棄 水、唾液などが付いたマスクや食事ごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。
- (5) その他の留意事項（参加者から発病者が出た場合の対応）
- 大会終了後に、参加者から、新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合に備えて、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面（第99回市民体育大会（ヨット競技）横須賀ヨット協会セーリング競技会 参加申込書）及び運営スタッフの名簿について、保存期間（少なくとも1か月以上）を定めて保存しておく。
- 参加者から発病者が出て、保健所（横須賀市の場合、健康部保健所健康づくり課感染症対策担当）より要請があった場合に、上記情報（参加申込書及び運営スタッフ名簿）を提供す

10. 競技会運営作業予定（令和8年6月7日）

天候等の影響により予定変更の可能性があります。

番号		時間	項目及び実施事項	記 事	潮汐・日没
1	陸上会場準備／開会式・出艇準備	07:00	集合		日出
2		07:05 (07:10)	会場設定の作業要領確認		04:25
3		07:10 (07:55)	競技会本部（陸上）テント設定 参加艇ぎ装開始（完了後海岸へ移動） レスキュー搭載物件準備 レスキュー艇準備 マーク及びブイ準備	大人全員で実施 選手が実施 本部・レスキュー 乗艇者 及び 物品係が主体で 実施	月齢 21.3 (中潮)
4		07:30 (07:50)	競技会受付設置作業 選手受け入準備	総務・受付係が実施	
5		07:55	参加艇 ギ装終了		07:52 満潮 118mm
6		08:00	受付開始・帆走指示書掲示・出艇申告		
7		08:10 (08:40)	受付終了後、選手で艇を海岸へ移動 レスキュー艇海岸へ移動	当日に借用する艇の準備 全員で艇の移動	
8		08:45	本部長及び来賓到着		
9	海上準備／出艇	09:00 (09:20)	受付終了 開会式 艇長会議	(1)開会宣言 (2)会長挨拶 (3) ・選手宣誓 ・議員祝辞 ・会長式辞 副会長式辞 ・支援団体クラブ長式辞	
10		09:20	レスキュー1艇出艇（マーク敷設）		
11		09:30 (09:50)	出艇許可 参加艇 全て出艇	陸上連絡係 安全係安全確認	
12		09:40	海上本部艇到着（出艇） 海上本部要員出発 本部艇へ移乗		
13		10:00	全レスキュー艇 出艇		
14		10:10	マーク設置終了		
15	競技	10:25	第1レース予告信号		
16		10:30	第1レース開始		
17		11:45	第1レース終了	レース結果記録	
18		12:00	第2レース開始		
19		13:15	第2レース終了	レース結果記録	
20	閉会式準備	13:00 14:00	レース終了後 海岸へ帰り帰着申告 艇を練習場へ移動	安全支部長	
21		14:00 (14:45)	艇を移動後 昼 食 昼食終了後、後片付け	成績集計 賞状作成	15:00 干潮 37mm
22		15:30	閉会式 成績発表 記念撮影	閉会宣言	
23		16:00 (16:30)	大会終了・撤収		日没 18:55

11. 競技会準備計画表

月	日	曜	全般予定	運営準備計画	内 容
4	4	土			
	11	土	ジュニアヨット練習（艇整備）		ヨット競技公示作成
	18	土		本部艇の調整	帆走指示書作成
	25	土	ジュニアヨット練習（艇整備）	提出書類の準備	市へ事業計画提出
5	2	土		海上保安庁との調整	
	3	日	強化練習（レース練習）		
	4	月	強化練習（レース練習）		
	5	火	強化練習（レース練習）		
	6	水	強化練習（レース練習）	レース公示	
	9	土	ジュニアヨット練習（レース練習）	・関係機関との調整 ・支援者・借用物品の調整 ・チャーター機点検	選手への配布物準備
	16	土	強化練習（レース練習）		
	23	土	ジュニアヨット練習（艇整備）	レース申込締切日	
	30	土	強化練習（レース練習）	運営準備 装備品点検	
6	6	土	市民体育大会(ヨット競技)準備	設営・準備	運営スタッフ
	7	日	市民体育大会(ヨット競技)		運営スタッフ
	14	日	市民体育大会(ヨット競技)予備		

12. 事業収支見積

(1) 予想される参加選手数

グループ	艇 種	艇数	選手数	Y Y A 関係者	グループ人数
第 1	OP-A	7	7	4	10
	OP-B	3	3	3	
第 2	レーザー4.7	3	3	2	10
	ホッパーSR	2	2	0	
	マーチン	2	4	0	
	その他	1	1	0 (一般)	
合 計		18	20	9	20

(2) 予想される関係者

競技運営関係者	人数	役員人数 (人数の内数)
Y Y A 会員	27	27
ジュニアヨットクラブ会員	6	6
合 計	33	33

(3) 令和8年度ヨット競技収支見積

■収 入

収 入 (市民体育大会収入)

科目	予算	備考
委託料	180,000	横須賀市より委託料
参加料	20,000	¥1,000/1人 1000×20人
協会からの支出	9,600	
計	209,600	

■支 出 金額 (円)

科目	予算	備考
諸謝金	39,600	大会役員役務費用(1200円×33人)
運営艇借上料	40,000	本部艇
施設等利用料	50,000	船舶等使用料・艇庫使用料
大会備品等	30,000	シート、マーク等
安全備品等	30,000	ライフジャケット等
消耗品費	20,000	レース運営用具等・油脂共
合 計	209,600	

13. 競技実施の報告等通報先

	事象等の項目	連絡通報先	電話番号等
1	市民大会各競技 実施計画・実施報告	横須賀市文化スポーツ観光部 スポーツ振興課 社会体育係	TEL046-822-8493 FAX046-824-3277 E-Mail:pe-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp
2	海上でレース等実施時の届出	横須賀海上保安部 安全課 安全係	046-861-8374 E-Mail:jcg3yokosukakotsu1-9j6u@mlit.go.jp
3	漁業権の漁場区域にかかるイベント・レース等実施時の連絡先	長井町漁業協同組合	046-856-2556
4	浜を利用するイベント等の届出	横須賀土木事務所	046-853-8800 (浜に本部を設置する場合)

第 99 回横須賀市民体育大会（ヨット競技）
横須賀ヨット協会セーリング競技会
レース公示
—Notice Of Race—



2026.06.07

第 99 回横須賀市民体育大会（ヨット競技）
横須賀ヨット協会セーリング競技会
レース公示
—Notice Of Race—

大会主催 横須賀市

大会主管 横須賀市スポーツ協会 NPO 法人横須賀ヨット協会

特別協賛 湘南サニーサイドマリーナ株式会社

大会役員 別紙 1 のとおり

○ヨット競技会役員

競技会長	石渡 一義	（NPO 法人横須賀ヨット協会会長）
競技副会長	松井 力	（NPO 法人横須賀ヨット協会副会長）
競技副会長	片桐 邦博	（NPO 法人横須賀ヨット協会副会長）
競技会事務局	野口 晶義	（NPO 法人横須賀ヨット協会事務局長）
	横山 恵一	（NPO 法人横須賀ヨット協会理事）

令和 8 年度 横須賀市民スポーツ大会役員 (R8.5.1)

大会会長	上地克明			
大会副会長	上条 浩	平澤和宏		
大会委員長	齋藤幸次			
大会副委員長	石渡一義	長谷川博美	安田憲二	
大会総務長	石渡淳史	高橋哲也		
大会総務員	横内袈裟義	長澤孝雄	関場孝男	山口聡
	白幡美奈子	大橋昭夫	丸瀬正	岡山勇一
	梶ヶ谷宜之	伊田忠富	渡辺孝	
	高橋智枝	後藤智子	遠藤茂和	渡辺治
	鈴木康文	島崎謙	杉山哲也	飯塚剛
	東海林優	落合洋俊	福本修平	岸千春
	守谷紀幸	田村江見子	大須賀裕司	藤平初夫
	松田茂和	藤城敏高	蛭名毅	岡本宏
	鈴木節子	石渡篤	高橋俊仁	白坂篤哉
	小松博	岩澤守晃	高津修一	野口晶義
	小松岳彦	沼尻正昭	安藤章汰	
競技会長	高橋いずみ	南將美	大貫次郎	平泉忠廣
	神代真琴	清水充治	遠藤茂和	野田一彦
	磯部政博	小池克彦	片岡祐二	山本彰
	井口一彦	林田和孝	田辺昭人	小林慶雄
	守谷紀幸	渡辺光一	宗片敏明	齋藤好弘
	山本賢寿	加藤眞道	阿部純一	鈴木一
	市原歳之	泉水孝子	元文伊佐武	太田清志
	大竹生志	西郷宗範	那須勉	大野忠之
	小西正明	高津修一	須藤厚夫	石渡一義
	杉田惺	岩田嘉純	三縄保	伊田忠富

1. 競技期日
2026 年 6 月 7 日（日）
（荒天またはその他の理由で開催が困難と判断される場合、日程調整後延期）
2. 競技会場（別紙 2 参照）
(1) 競技会本部（当日設置）和田長浜海水浴場 横須賀市長井 2-1 2
(2) 競技海面宮田湾・横須賀市長浜海岸沖
3. 競技日程
08:00～09:00 大会本部：参加選手受付
09:00～09:30 開会式・艇長会議・出艇申告
10:25～ 第 1 レース・スタート予告信号（約 5 分毎に各グループ スタート）
11:55～ 第 2 レース・スタート予告信号（約 5 分毎に各グループ スタート）
13:30 レース終了・帰着申告（12:45 以降のスタートは行わない。）
14:00～15:00 昼 食
15:30～16:00 表彰式及び閉会式
なお、状況及び安全上の理由により、レース開始時刻は変更されることがあります。
4. 競技種目
ディンギー（OP、シングルハンド及びダブルハンド）クラス
5. 競技要領
(1) 第 1 グループ（ヤードスティックナンバー 110 以上） 第 2 グループ（ヤードスティックナンバー 110 未満）及び 第 3 グループ OP-B（初級）の 3 グループに分類し、グループ毎にレースを実施する。
(2) 各グループの競技艇数は 10 艇程度までとする。
(3) レースは、2 回実施する。但し、各グループともに 1 レースを完了すれば、競技会は成立とする。
6. 適用規則
ISAF 競技規則 2025-2028、帆走指示書及びレース公示を適用する。
7. 帆走指示書
配布は行わない。各自横須賀ヨット協会ホームページよりダウンロードすること。
8. 参加資格等
(1) 選 手
1) 横須賀市内在住、在勤、在学の者又は、NPO 法人横須賀ヨット協会関係者並びに同協会から推薦された者。
2) 小学校 1 年生以上の者。
3) NPO 法人横須賀ヨット協会主催の安全講習会を受講している者。
4) 過去に OP-B クラスで優勝した者は OP-B クラスにエントリーできない。
(2) 参加艇
1) 原則として自艇による参加とする。（艇は当日会場へ搬入する。）
2) NPO 法人横須賀ヨット協会会員及び Y Y A ジュニアヨットクラブ生は、練習艇を使用する。
(3) 保険等
参加する選手は、競技期間中を契約期間とするスポーツ安全保険等に参加していること。
9. 参加料
・シングルハンド級 : 1000 円／1 艇
・ダブルハンド級 : 2000 円／1 艇
* 参加料は、大会開催の有無に係わらず返金致しません。

10. 表彰等

(1) 賞

- 1) グループ別（艇種別）にそれぞれ1位～8位まで賞状を授与する。
- 2) ヤードスティックナンバーに基づいた総合順位で（OP-Bを除く）、1位～3位まで賞状を授与する。
- 3) シーマンシップに溢れる選手に、特別賞を授与する。

11. 参加申込

(1) 申込方法

参加料は事前に指定の口座に振り込んでください。そして、「参加申込書」（別紙3）に必要事項を記入し、参加料の「振込明細書」を添えて下記の宛先へ申し込みください。「申込締切日時」到着分（郵送の場合は当日消印有効）が申込有効になります。

- ① 「参加料」を指定口座に振り込む。振込人名の後にセイルナンバーと艇種を入力して下さい。
家族で複数名の参加の場合は、合算した金額での良い。
- ② 「参加申込書」に必要事項を記入、参加料の「振込明細書」を添えて下記の「郵送先」へ送る。
- ③ 郵送の場合は当日消印有効。「ヨット協会事務局」に持参するなどの場合は、「申込締切日」の17時まで。

(2) 申込締切日

2026年5月29日（金） 17時 締め切り

※締切厳守 競技大会当日の申込受付は行いません。

(3) エントリー変更

申し込み締め切り後のエントリー変更は原則認めない。

配布先	〒238-8550 横須賀市小川町11番地 文化スポーツ観光部 スポーツ振興課 社会体育係 Tel: 046-822-8493
郵送先	〒239-0808 横須賀市大津町三丁目19番2号 高北不動産（株）内 NPO 法人横須賀ヨット協会事務局 Tel: 046-836-7440 Fax: 046-836-6490
振込先	（名称）特定非営利活動法人横須賀ヨット協会 横浜銀行馬堀支店 （店番号）549 （口座番号）1288064

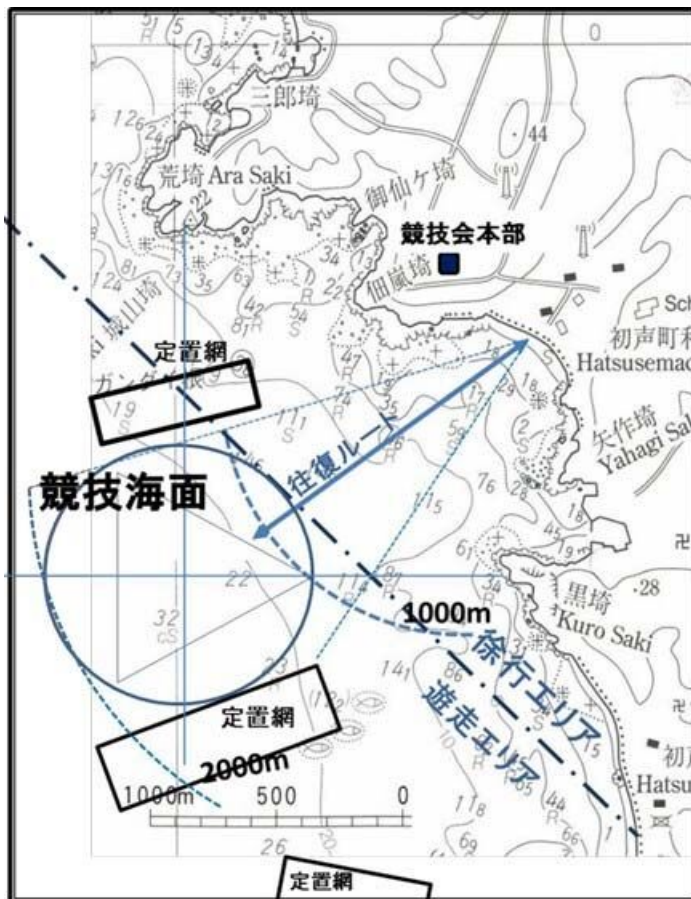
12. 競技会場

別紙 2



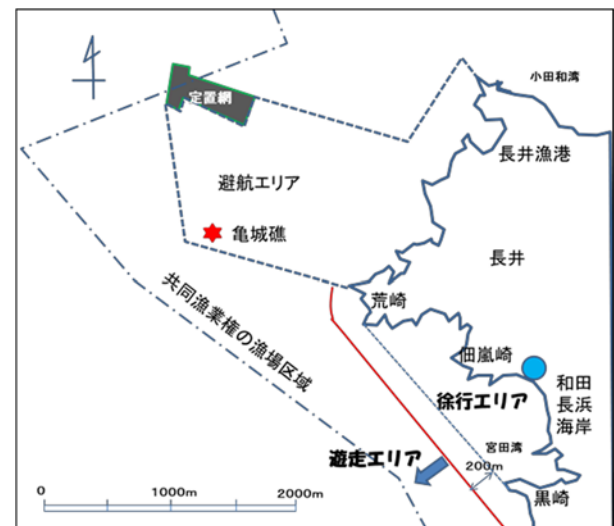
13. 競技海面

宮田湾・横須賀市長浜海岸沖



横須賀「長井」連絡会から示された
「海・浜のルールブック」を遵守する。
○ 競技海面への移動は往復ルートとする。
○ 競技海面は遊走エリアで実施する。

「海・浜のルールブック」から



第99回横須賀市民体育大会（ヨット競技）
横須賀ヨット協会セーリング競技会 参加申込書

申し込み日	/ /	受付日	/ /	受付番号	
スキッパー					
フリガナ				性 別	男 女
氏 名				年 齢	才
				生年月日	/ /
住 所	〒	携帯電話			
		自宅電話			
勤務先/学校 名 称			学 年		
所 在 地	〒		電話番号		
ク ル ー					
フリガナ				性 別	男 女
氏 名				年 齢	才
				生年月日	/ /
住 所	〒	携帯電話			
		自宅電話			
勤務先/学校 名 称			学 年		
所 在 地	〒		電話番号		
艇の種類 クラスの名 使用艇	☐ 個人艇 ☐ YYA 艇	セー ル N o		所属団体名	
参加資格等	☐ 横須賀市在住・勤務・在学 ☐ Y Y A 関係者 ☐ Y Y A 推薦者				
誓 約 書					
私は、第99回市民体育大会（ヨット競技）・横須賀ヨット協会セーリング競技会に参加するに当たり、全て自己責任で参加し、生命、身体の負傷及び参加艇の損傷について主催者及びNPO法人横須賀ヨット協会運営関係者が責任を負うものではないことを認めます。 令和8年 月 日 第99回市民体育大会会長 殿 ヨット競技大会会長 殿 スキッパー 本人氏名 保護者氏名 ク ル ー 本人氏名 保護者氏名 競技会へ参加する本人が未成年の場合、保護者が記名					

緊急時の連絡先TEL： - - ☐ 自宅住所（TEL）と同じ

第99回横須賀市民体育大会（ヨット競技）

横須賀ヨット協会セーリング競技会

帆走指示書（Sailing Instructions）



2026.06.07

第99回横須賀市民体育大会（ヨット競技）

横須賀ヨット協会セーリング競技会

帆走指示書（Sailing Instructions）

1 適用規則

- (1) 本競技会は、2025－2028年国際セーリング競技規則（以下、競技規則という。） 日本セーリング連盟規程、当該クラス規則、但しいずれの規則も帆走指示書によって変更されたものを除く。
- (2) OP－Bクラスは、競技委員長より説明される指示を優先とする。

2 選手への通告

- (1) 選手への通告は、競技会本部前に設置された公式掲示板に掲示される。

3 帆走指示書の変更

- (1) 帆走指示書の変更は、それが発効する当日の各クラスレースのスタート予告信号の60分前までに公式掲示板に掲示される。

4 陸上で発する信号

- (1) 陸上で発する信号は、競技会本部前に設置されたフラッグ・ポールに掲揚される。
- (2) すべての艇の出艇は、長浜海岸の競技会委員の指示による。
- (3) 「AP（回答）」旗が競技会本部に掲揚された場合 「予告信号は20分以降に発する。」ことを意味する。また、「AP（回答）」旗が海上本部艇に掲揚された場合は、そのレースのスタートが、予定外に延期されていることを意味する。

5 レース等の日程

- (1) 登録受付は、6月7日（日）08：00～09：00競技会本部受付にて行う。
- (2) レース予定

レース	順番	予告信号 予定時刻	グループ
第1 レース	1	10：25	第1グループ （ヤードスティックナンバー110未満）
	2	10：30	第2グループ（OP－A） （ヤードスティックナンバー110以上）（OP-Bを除く）
	3	10：35	第3グループ（OP－B（初級））
第2 レース	1	11：55	第1グループ （ヤードスティックナンバー110未満）
	2	12：00	第2グループ（OP－A） （ヤードスティックナンバー110以上）（OP-Bを除く）
	3	12：05	第3グループ（OP－B（初級））

- (3) 第2グループのOP-Aクラスの参加艇が1艇のみの場合は、第1グループと同じスタートとする。ただし、周回数は変わらず1周とする。
- (4) 海上気象の状況によっては、第2グループのOP-AとOP-Bを別に区分して競技を行う。
- (5) 「AP（回答）」旗が海上本部艇に掲揚された場合は、そのレースのスタートが、予定外に延期されていることを意味する。
- (6) レース数
各グループ、合計2レースを予定する。
- (7) その他の日程
 - 1) 開会式及びスキッパーズ・ミーティング（競技会本部前）09：00～
 - 2) 昼食 14：00～15：00
 - 3) 表彰式及び閉会式（競技会本部前）15：30～
- (8) 「引き続き次のレースが実施される。」ことを喚起するために、予告信号を掲揚する最低5分前までに、音響信号1声とともに、海上本部艇に「G」旗を掲揚する。
- (9) 12：45以降のスタートは実施しない。
- (10) OP-Bクラスに関しては乗員の変更は認めない。なお運営艇からアドバイスすることがある。また、支援艇によるサポートを認める。支援艇に関しては登録制とし、レース中の艇の支障の無いように行うこと。

6 グループ旗

グループ旗は、以下を用いる。

グループ	グループ旗	クラス
第1グループ	グリーン旗	ヤードスティックナンバー110未満
第2グループ	ピンク旗	ヤードスティックナンバー110以上 OP-A
第3グループ	OP旗（白）	初級クラス OP-B

7 レースエリア

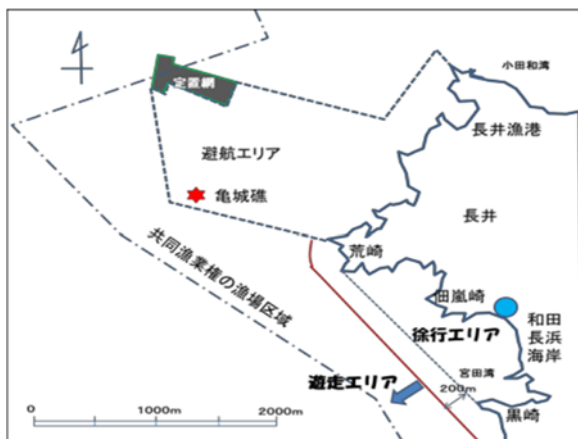
- (1) レースは、宮田湾、横須賀市長浜海岸沖の図—1に示す競技海面で実施する。
- (2) 天候その他の状況及び安全上の理由により、レース・エリアを変更する場合がある。
- (3) 横須賀「長井」連絡会から示された、長浜海岸における「海・浜のルール」を遵守することを原則とする。

図—1

「海・浜のルールブックから」

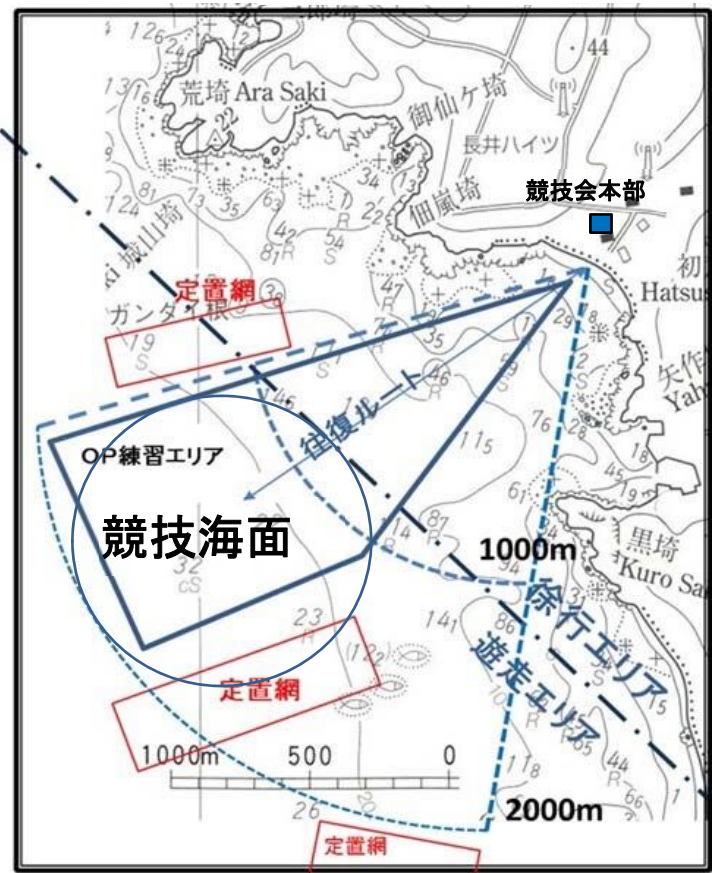


○競技海面～海岸への往復は
往復ルートを使用



○避航エリアに進入しない

競技海面



8 コース

- (1) 次の見取り図 2、図 3 はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- (2) 海上気象の状況によっては、コースを変更することができる。この場合は、大会本部に掲示する。
- (3) スタート・ラインから風上マークへのおおよそのコンパス方位は、海上本部艇からアナウンス又は掲示される。
- (4) 第 3 グループ (OP-B) のコース、スタート時間については直接選手に通告する。

第1グループ（ヤードスティックナンバー110未満）

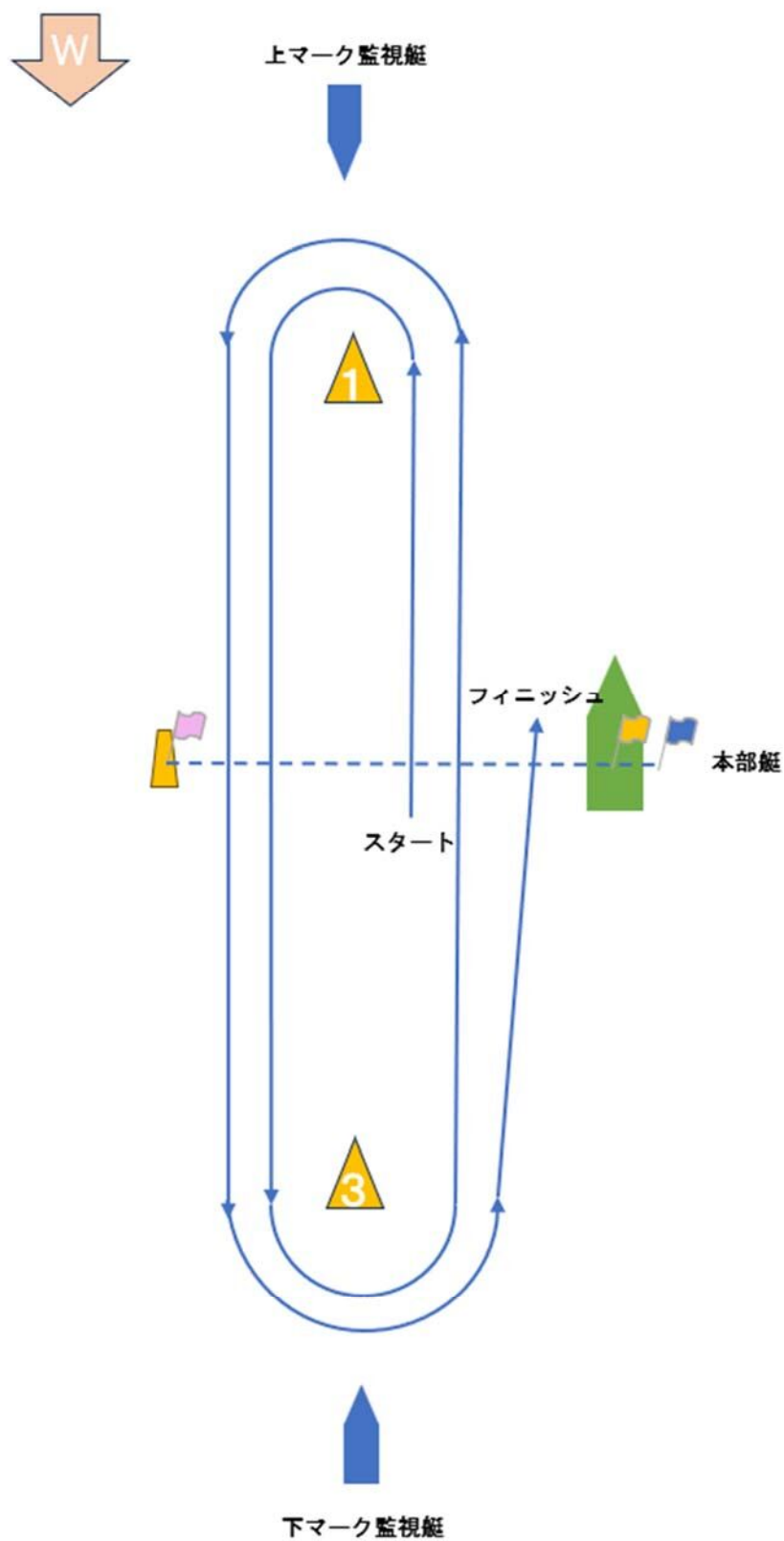


図-2（第1グループ）

○第1グループ（ヤードスティックナンバー110未満）

START→風上マーク→風下マーク→風上マーク→風下マーク→FINISH

第2グループ（ヤードスティックナンバー110以上）

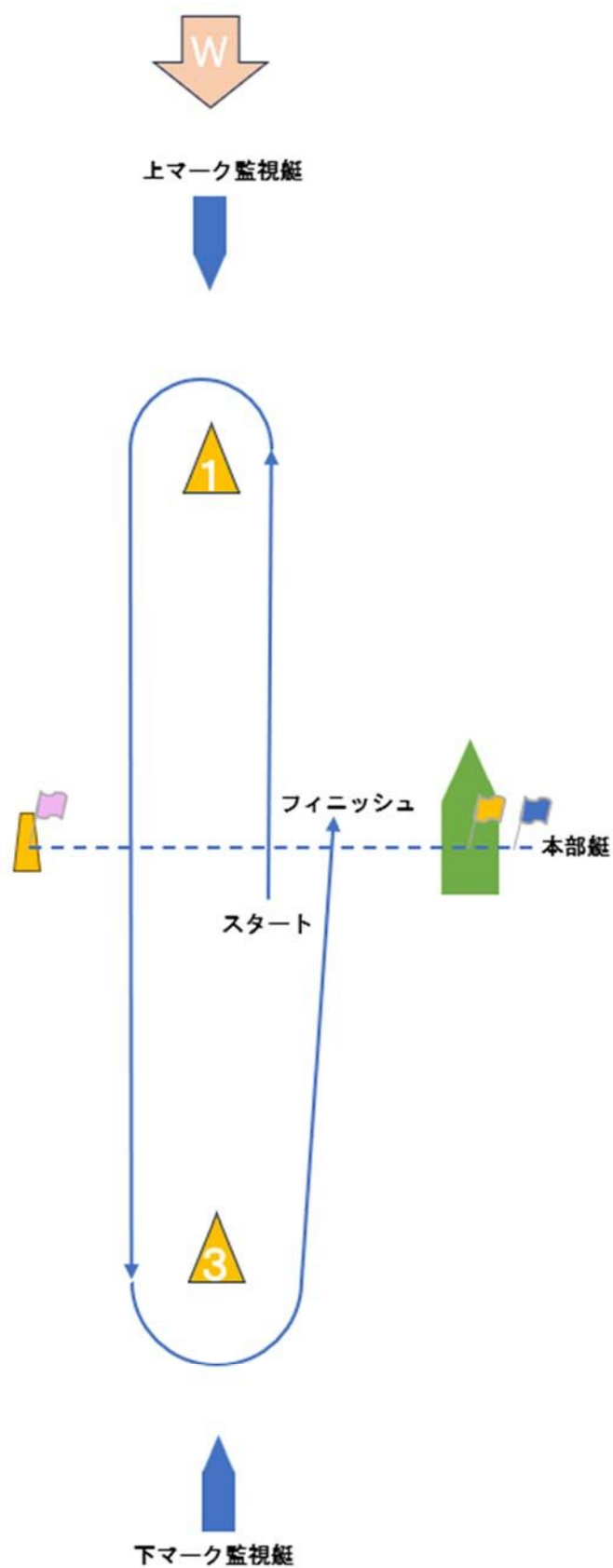
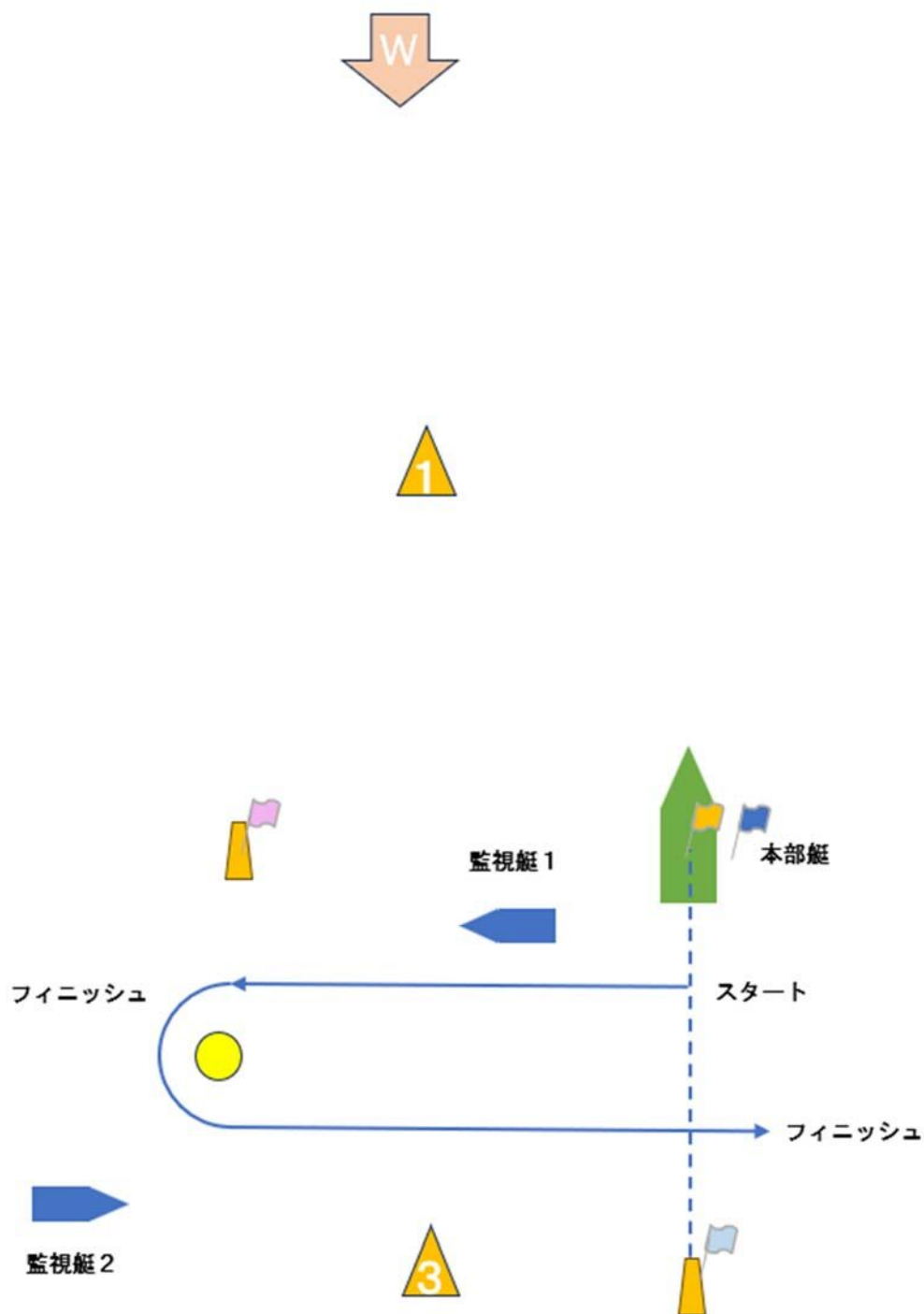


図-3（第2グループ）

○第2グループ（ヤードスティックナンバー110以上）

START→風上マーク→風下マーク→FINISH

第3グループ（OP-Bクラス）



○第3グループ（OP-B）

START→アビームマーク→FINISH

9 マーク

- (1) 風上マーク、風下マークはオレンジ色の三角錐型ブイを使用する。
- (2) スタート及びフィニッシュのアウターマークは、黄色い円筒形の旗付とする。
- (3) 帆走指示書 8. (2) におけるスタート・マーク及びフィニッシュ・マークは、他のマークと錯誤を生じないブイを使用し、形状等を公式掲示板に示す。
- (4) マークの「No. ①」は岸寄り、「No. ③」は沖寄りを意味する。マークの数字は回航順では無い。スタート時の風上マーク、風下マークを回航すること。この件の抗議は受け付

けない。

10 スタート

- (1) レースは、規則26を用いてスタートさせる。

信号種類	視覚信号	音響信号	スタートまでの時間
予告信号	グループ旗（掲揚）	1 声	5 分前
準備信号	P 旗又は I 旗又は黒旗（掲揚）	1 声	4 分前
（1 分前）	P 旗又は I 旗又は黒旗（降下）	1 声	1 分前
スタート信号	グループ旗（降下）	1 声	0

- (2) スタート・ラインは、スターボードの端となる海上本部艇のオレンジ旗を掲揚しているポール又はマストと、ポートの端となるスタート・マークの間とする。
- (3) 準備信号がまだ発せられない艇は、スタート・エリアから離れ、準備信号が発せられた全ての艇を避けなければならない。
- (4) 個別のリコールがあった場合、規則29.1に従い信号を発する。ゼネラル・リコールがあった場合、規則29.2に従い信号を発する。
- (5) スタート信号後5分以降にスタートする艇は審問無しDNSとして記録される。これは競技規則A4及びA5を変更している。

11 コース及びレグの変更

- (1) コースの次のレグを変更するために、競技委員会は、元のマーク又はフィニッシュ・ラインを新しい位置に移動する。

12 フィニッシュ

- (1) フィニッシュ・ラインは、青色旗を掲揚した海上本部艇のオレンジ旗を揚げたポールと黄色い円筒形のブイ（アウターマーク）間とする。
- (2) コース短縮のため、フィニッシュ・ラインを新たに設定する場合は、競技委員の乗艇する審判艇の掲揚するS旗を揚げたポールと黄色い円筒形のブイとの間とする。

13 タイムリミット

- (1) タイムリミットは、各艇種別先頭艇フィニッシュ後15分とする。なお、当該タイムリミットまでにフィニッシュしなかった艇は、DNFとして記録される。この項は、規則35とA4、A5を変更している。
- (2) スタート後、各グループの先頭艇が30分以内に最初のマーク「No. ①」に到達しない場合、そのレースは中止し再度レースをスタートから実施する。

14 抗議

- (1) 抗議は、陸上本部に用意された所定の用紙に記入の上、その日そのグループの最終レース終了後、60分以内に陸上本部に提出しなければならない。各グループの抗議締め切り時刻は、公式掲示板に掲示される。
- (2) 抗議は、できるだけ早く、受付順に審問される。
- (3) 抗議の通告は、審問の場所及び時刻、抗議の当事者、又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議締め切り時刻後、15分以内に公式掲示板に掲示されるものとする。
- (4) O P - Bクラスに対する抗議を受け付けない。なお、運営艇、支援艇がアドバイスすることがある。
- (5) ルールに違反した艇、まわりからルール違反を教えられた艇はペナルティ（マーク・タッチは1回転、それ以外は2回転を行う。）を履行させること。

15 失格に代わる罰則

- (1) 競技規則 64.2 (a) により、失格を免罪する場合は、競技規則 44.1 により規則第2章による規則に違反したかもしれない場合は、720度回転（2回転）のペナルティの履行とする。また、マーク・タッチの場合は、360度回転（1回転）のペナルティの履行とする。

16 ヤードスティックナンバーと順位

（横須賀ヨット協会セーリング競技会のみ）

- (1) J S A Fヤードスティックナンバー2024を採用する。（別紙参照）
- (2) 所要時間に 100/YN を乗じたものを修正時間とし、修正順位を決定する。なお、周回数1回の場合は修正時間に2倍を乗じる。
- (3) 修正時間 = 所要時間（秒）/ YN × 100 とし、小数点以下を切り捨て順位を決定する。
- (4) 修正時間が同一の艇は YN の高い艇を上位とする。

17 得点

- (1) 各クラスとも競技規則 A 4.1 の「低得点方法」を採用する。
- (2) 各クラスは、2レースが予定され、本競技会が成立するには、各グループともに1レースを完了しなければならない。
- (3) 各クラスは、全レースの得点合計をその艇の得点とする。

18 規則 42（推進方法）の違反に対するペナルティ

- (1) 付則 P を適用する。

19 安全（出艇・帰着申告）

- (1) 艇長は、所定の用紙に自艇のセール番号を記入し署名してから出艇し、帰着した後は、速やかに同用紙に署名しなければならない。
- (2) 各艇の乗員は、離岸から着岸まで、適切な個人用浮力体（ライフジャケット）を着用しなければならない。
- (3) 帆走指示書 19. (3) に違反した者は、自動的に失格とする。
- (4) レースからリタイヤする艇は、可能な場合は、レース・エリアを離れるまえに、警戒艇（運営艇：競技委員乗艇）にその旨通告しなければならない。

2 0 支援艇

レース運営に従事する艇以外の全ての支援艇、観覧艇等は、緊急時に援助をすることに同意した艇のみ許可する。

最初にスタートするクラスの準備信号から、全艇がフィニッシュするか、レース委員会が延期、ゼネラル・リコール又は中止の信号を発するまで、レース・エリアに入る等、レースの妨げとなる行為をしてはならない。

参加艇の支援を目的とする艇がこれらに従わなかった場合、その支援要員に関連する全ての艇にたいして、プロテスト委員会の裁量によるペナルティ が課せられることがある。ただし競技委員会より救助その他の要請を受けた場合はこの限りではない。また、OP-B への支援艇に関してもその限りではない。

2 1 津波規定

気象庁が津波警報（大津波・津波）または津波注意報を発表した場合、海上本部艇に反復音響信号と共に下に示す旗を掲揚する。これらの信号旗を揚げた時、レースは中止され、全ての艇は速やかに帰航する。

津波警報に関する旗・信号

	U 旗	津波警報	これらの信号旗を揚げた時、レースは中止され、全ての艇は速やかに帰航する（反復音響信号）。
--	-----	------	--

2 2 責任の範囲

レースに参加する否かの判断は、参加者各自の責任とする。本競技期間中の人身事故、負傷、艇及び物品の損失、その他の事故に関して主催者、運営者は一切責任を負わない。

2 3 その他

本競技会は、親睦のためのものであり、著しく運営及び参加者に迷惑を掛けた者は失 格となる。

2 4 横須賀市民体育大会・横須賀ヨット協会セーリング競技会における新型コロナウイルス感染リスク対応方法

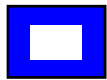
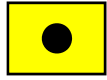
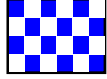
- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）
 - 1) 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 3) 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への 渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施する。
- (4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ 2 m 以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

- (6) 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと。
- (7) 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- (8) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに 濃厚接触者の有無等について報告すること。

2024 年度神奈川県セーリング連盟ヤードスティックナンバー

艇種	Y N	艇種	Y N	艇種	Y N
モス(水中翼)	47	バレオ	92	フィーバXS	109
ナクラ17(水中翼)	54	B14スモールリグ	92	OKI	109
ナクラ17	56	RSVareo	92	LT17	110
49er	60	RSAero7	92	P-15	110
トーネード	62	420	93	R17	110
国際14	64	FJ	94	アクタスR17	110
RS800	67	カシオペア	94	ミラー14	110
ナクラ5.2	67	シーホッパー	94	A級ディンギー	110
ホビー16	70	シカーラ	94	シーマーチン(1枚帆)	112
RS700	72	RSQuest	94	Hayama12	112
FD	75	レーザー	95	ミニホッパー	113
505	77	ミニキャット460	95	デイセーラ	115
B14	77	ウィンドコール	95	アクタス	115
WETA	78	RSVision	95	K16C	120
29er	78	RSAero5	95	シースパロー	120
ホビー14	78	ヤマハ15	95	トッパー	120
470	80	Hayama14	96	ティワル3.2	120
RS500	80	ビジョン	97	ミラー	124
セーリング・スピリッツ	80	Y15	98	CJ	129
ファイアボール	80	シーラス	98	アクアミューズ	130
シードスポーツ	80	シカーラ(スピンなし)	98	オープンビック	130
シーラーク	80	シーホッパーSR	98	ファイアバグ	135
K16	82	レーザーラジアル	98	ハンザ303(二人乗り)	140
レーザーVORTEX	82	ウィンドジョイ	99	ダックリング	140
SKUD18	82	K420	100	OP	144
テザー	83	シーマーチン(2枚帆)	107	ハンザ2.3(一人乗り)	148
RS100	85	B14斉藤スペシャルリグ	100		
シーホース	87	ヨーロッパ	100		
Melges14	88	OKディンギー	101		
モス	89	シカーラ	102		
RSAero9	89	シースパイダー	102		
スナイプ	90	レーザー4.7	103		
フィン	90	RSフィーバXL	103		
RS200	91	フィーバXL	103		
ホビーブラボー	91	RSフィーバXM	106		
B14スモールリグ	92	フィーバXM	106		
		RSフィーバXS	109		

旗・信号一覧

	AP 旗 (回答旗)	アンサー ペナント	スタートしてないレースを延期する。(掲揚時音響 2 声)。 降下(音響 1 声)の 1 分後に予告信号を発する。
	グリーン旗		第 1 グループクラス旗 予告信号、5 分前掲揚(音響 1 声) スタート時降下(音響 1 声)
	ピンク旗		第 2 グループクラス旗 予告信号、5 分前掲揚(音響 1 声) スタート時降下(音響 1 声)
	P 旗	パパ	準備信号、4 分前掲揚(音響 1 声) スタート 1 分前降下(音響 1 声)
	I 旗	インディア	準備信号(1 分間ルール適用)、4 分前掲揚(音響 1 声) スタート 1 分前降下(音響 1 声)
	OP 旗	クラス旗	第 3 グループクラス旗 予告信号、5 分前掲揚(音響 1 声) スタート時降下(音響 1 声)
	オレンジ		スターティング・ライン
	第 1 代表旗		ゼネラル・リコール信号(音響 2 声) そのクラスのスタートはリコールされ新しいスタートが行われる。 予告信号は、クラス旗と共に降下 1 分後に発する。 (第一代表旗の降下時に音響 1 声を発しなければならない)
	X 旗	エクスレイ	個別リコール信号 スタート信号が発せられた直後に、音響信号 1 声と共にこの信号 旗を揚げた時「1 艇又は 2 艇以上のヨットが個別リコールされた」 時。自己申告で再スタート
	L 旗	リマ	通告信号(音響 2 声) この信号が陸上で揚がった時は「競技者に対する通告が公式掲示 板に掲示されている」海上で揚がったときは「声の届く範囲に集 合」あるいは「ついて来い」。 引き続きレースを行う(音響 1 声) 次のレースの予告信号 1 分前に降下(音響 1 声)
	S 旗	シアラ	コース短縮信号(音響 2 声) この旗を掲揚した海上本部艇のポールと黄色い円筒形のブイ(アウ ターマーク)との間を通過しフィニッシュせよ
	青色旗		フィニッシュ・ライン
	N 旗	ノーベンパー	スタートした全てのレースを中止する(音響 3 声)。
	U 旗	ユニホーム 津波警報	これらの信号旗を揚げた時、レースは中止され、全ての艇は速や かに帰航する(反復音響信号)。
	Y 旗	ヤンキー	個人用浮力体(ライフジャケット)を着用せよ。